



神内っ子

笠岡市立神内小学校 学校だより

令和4年7月19日 No10

【笠岡東中学校区小中一貫教育 教育目標】

郷土を愛し、夢の実現に向けて高め合い、
たくましく生きる児童・生徒の育成

・進んで学ぶ子

・思いやりのある子

・元気な子

・ふるさと大好き神内っ子



地域学②

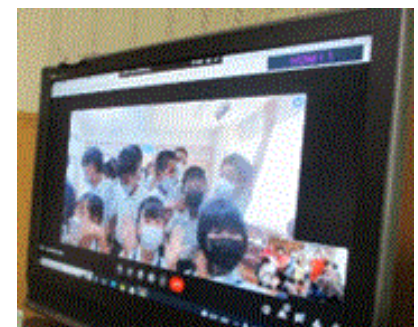
《5年生》 環境保護隊！ ～カブトガニやアマモの命を 未来へつなごう～



7月13日(水)1・2校時の総合的な学習の時間に、東村に海の様子
の調査に出掛けました。大潮の満潮に近い時間でしたが、生き物や浜の
様子などをじっくり調べることができました。砂浜に穴が開いていて、生
物が生息している様子や、緑色や、褐色の細長い海藻がたくさん打ち上
げられていることに気が付きました。紙のように白くなっているものもあ
り、子どもたちはたくさん拾って帰りました。これからその海藻について調
べていこうです。海岸には、ペットボトルや洗剤が入っていたプラスチック
容器、大小さまざまなプラスチック片、煙草の吸い殻があり、25cm×1
5cmほどの発泡スチロール片も流れてきました。それらを拾い集めなが
ら、「やっぱりゴミがあるね。」「海の水は濁っていて、きれいではないな
あ。」と言いながらメモを取っていました。子どもたちは、今回の調査でど
んな思いを抱いたのでしょう。調べたことをもとに、これから環境につ
いて学習を進めていきます。

《4年生》 共に生きるために ～優しさあふれる町を目指して～

7月14日(木)3・4校時の総合的な学習の時間に、「重度障害支援
センターすまいるハウス」の利用者さんと施設の方と、リモートで交流を
しました。司会担当の児童がいて、挨拶や自己紹介、インタビュー、そして
〇×クイズをしていきました。4年生になって初めての交流で、これまでい
ろいろな準備を進めてきました。7月5日の学校運営協議会の授業参観
のときに、どんなことを知りたいか、インタビューの内容を丁度話し合っ
ていました。その時、「離乳食みたいなものを食べているかを聞いたら失礼
になるかと思うから、…」という児童の発言を、すまいるハウスにお務め
の委員さんが聞かれていて、今回の交流の最後に、すまいるハウスの食
事について、施設の方が写真を用いて詳しく教えてくださいました。普通
食をペーストにしても、何を食べているか分かるようにエビフライなど元
の料理の絵をケチャップで描いたり、楽しく食べられるようにキャラクター
の形にしたりして普通食に工夫を加えていることに、子どもたちはとても
驚いていました。そして、行事の時の食事の写真を見ると、子どもたちか
ら歓声が上がっていました。



この交流によって、子どもたちの心の中にはどんな思いが生まれたのでしょ
う。今年も子どもたちが社会との架け橋になってくれることを期待してい
ます。

石田製帽さんから麦わら帽子をいただきました

暑さから子どもたちを守るために、笠岡市小平井にある株式会社
石田製帽さんから1年生に、麦わら帽子が届きました。自然素材のため、
肌触りと通気性がよい麦わら帽子に子どもたちは大喜びでした。
早速被って下校しました。ありがとうございました。

